

平成29年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年8月29日

上場会社名 東和フードサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3329 URL http://www.towafood-net.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岸野 禎則
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部部長 (氏名)長谷川 研二 (TEL)03(5843)7666
 四半期報告書提出予定日 平成28年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第1四半期の業績（平成28年5月1日～平成29年4月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第1四半期	2,644	0.5	118	△37.4	121	△37.5	78	△32.7
28年4月期第1四半期	2,631	6.2	189	149.5	194	158.2	116	219.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第1四半期	19.26	—
28年4月期第1四半期	28.63	—

※平成27年11月1日付けにて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しています。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第1四半期	6,987		4,740			67.8
28年4月期	7,129		4,694			65.8

(参考) 自己資本 29年4月期第1四半期 4,740百万円 28年4月期 4,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	15.00	—	7.50	—
29年4月期	—	—	—	—	—
29年4月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成27年11月1日付けにて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。配当金については1株当たりの配当金をそのまま記載しております。

3. 平成29年4月期の業績予想（平成28年5月1日～平成29年4月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,400	2.7	357	8.0	367	9.3	211	11.3	51.98
通期	11,000	3.8	679	16.6	700	11.4	409	25.1	100.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年4月期1Q	4,093,200株	28年4月期	4,093,200株
② 期末自己株式数	29年4月期1Q	17,302株	28年4月期	17,302株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年4月期1Q	4,075,898株	28年4月期1Q	4,075,930株

(注) 平成27年11月1日付にて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における我が国経済は、政府・日銀による各種政策を背景とし、企業収益や雇用環境の改善が見られる一方で、熊本地震の発生、中国をはじめとする新興国の景気減速、イギリスのEU離脱問題等による為替相場や株式相場急激な変動など先行きは不透明な状況が続いております。外食業界におきましても、原材料価格の上昇や、人手不足に伴う人件費等のコスト上昇等、厳しい事業環境が続いております。このような状況のもと、当社におきましては、「New Growth ～新しい成長～」をキーワードに、各業態が特性に合わせた施策を積極的に推進してまいりました。

メニュー・販売促進面では、カフェカンパニーの椿屋珈琲グループにおいて月替わりのスペシャルティーコーヒーの提供、ダッキーダックグループではヴィーナスマンゴータルトやレインボーかき氷の投入など、季節感溢れる商品の開発を推進。中でもチョコミントとバナナのタルト、クレミアソフトクリームはツイッター等のSNSで大変大きな反響をいただき、成果をあげております。

ダイニングカンパニーのスパゲッティ食堂ドナ、お好み焼き・鉄板焼きのばすたかん・こてがえしにおきましては、第2・第3火・水・木に実施しているフェア「お得な6日間」の認知度アップにより、客数では前年対比増が図れております。自社製生麺にあうキレのあるソースや高付加価値メニューの連続投入により、客数回復策と売上向上策を継続実施しており、成果が見えてまいりました。

さらに「椿屋珈琲店 深煎りブレンドBLACK」のボトル缶珈琲を自社開発し、自社製焼き菓子と共に、店舗及び都内コンビニエンスストア、楽天市場 椿屋珈琲店での販売を開始いたしました。生産カンパニーのカミサリーにおきましては、ピッツァ生地の内製化を進め、9月から供給を開始致します。

接客・サービス面では、全従業員による「笑顔トレーニング」の実施、お会計時に綺麗な10円玉をお渡しする取り組み等、ホスピタリティ溢れる接客が出来るよう取り組んでおります。さらなるサービスの向上に向けては、教育する側、される側が共に成長出来るよう新しいサービスマニュアルの作成も行い、店舗におきましては、双方向性でのトレーニングを行っております。

以上の結果、第1四半期累計期間の売上高は26億44百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は1億18百万円（同37.4%減）、経常利益は1億21百万円（同37.5%減）、四半期純利益は78百万円（同32.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて1億2百万円減少し、19億5百万円となりました。これは、現金及び預金が94百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて39百万円減少し、50億81百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて1億41百万円減少し、69億87百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度に比べて1億43百万円減少し、11億65百万円となりました。これは、未払法人税等が58百万円、未払賞与が48百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて43百万円減少し、10億81百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1億87百万円減少し、22億47百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて46百万円増加し、47億40百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月30日に公表いたしました、平成29年4月期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,337,906	1,243,824
売掛金	85,511	86,970
SC預け金	270,103	302,618
商品及び製品	26,296	28,560
原材料及び貯蔵品	87,457	80,380
前払費用	116,917	87,560
繰延税金資産	37,313	37,313
その他	47,531	39,162
貸倒引当金	△422	△464
流動資産合計	2,008,615	1,905,926
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,193,155	1,139,136
工具、器具及び備品（純額）	228,947	245,878
土地	1,118,599	1,118,599
リース資産（純額）	350,855	310,115
その他（純額）	32,208	64,484
有形固定資産合計	2,923,765	2,878,214
無形固定資産		
投資その他の資産	13,908	14,117
長期前払費用	32,115	29,276
繰延税金資産	179,598	180,659
差入保証金	467,623	466,288
敷金	1,464,704	1,476,941
その他	38,887	35,885
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	2,182,925	2,189,047
固定資産合計	5,120,599	5,081,379
資産合計	7,129,214	6,987,305

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	257,444	251,643
1年内返済予定の長期借入金	42,860	42,860
1年内償還予定の社債	70,000	55,000
リース債務	133,515	118,321
未払金	387,740	373,750
未払賞与	104,627	56,348
未払費用	68,893	65,748
未払法人税等	105,247	46,838
未払消費税等	79,048	88,431
預り金	27,076	41,112
店舗閉鎖損失引当金	3,605	3,605
資産除去債務	27,722	20,162
その他	2,045	2,045
流動負債合計	1,309,826	1,165,868
固定負債		
社債	210,000	210,000
長期借入金	214,270	203,555
リース債務	256,269	221,704
退職給付引当金	293,805	287,449
資産除去債務	129,824	137,471
その他	20,984	20,984
固定負債合計	1,125,153	1,081,165
負債合計	2,434,980	2,247,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	673,341	673,341
資本剰余金	683,009	683,009
利益剰余金	3,347,050	3,395,003
自己株式	△19,272	△19,272
株主資本合計	4,684,128	4,732,081
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,105	8,190
評価・換算差額等合計	10,105	8,190
純資産合計	4,694,234	4,740,271
負債純資産合計	7,129,214	6,987,305

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)
売上高	2,631,779	2,644,064
売上原価	673,684	695,050
売上総利益	1,958,094	1,949,014
販売費及び一般管理費	1,768,418	1,830,366
営業利益	189,676	118,648
営業外収益		
受取利息	38	38
受取配当金	341	393
受取家賃	6,715	6,695
その他	2,901	1,027
営業外収益合計	9,996	8,155
営業外費用		
支払利息	3,086	2,151
不動産賃貸原価	1,080	1,623
その他	1,160	1,641
営業外費用合計	5,327	5,416
経常利益	194,345	121,386
特別利益		
立退補償金	12,660	-
特別利益合計	12,660	-
特別損失		
固定資産除却損	16,756	604
減損損失	2,424	-
特別損失合計	19,181	604
税引前四半期純利益	187,825	120,782
法人税等	71,141	42,260
四半期純利益	116,683	78,521

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。